

施工アドバイザー検討会を開催しました



第1部_「別海町交流館ぷらと」での座学検討会

令和3年11月16日（火）、別海町交流館ぷらとで「農業農村整備事業委託業務にかかる施工アドバイザー検討会」を開催しました。

橋梁などの重要構造物や施工困難な現場及び複雑な仮設工を含む箇所では、より一層、実際の安全対策や施工方法が反映された設計となることが重要です。このため、コンサルタントによる設計段階から、熟練の現場技術者が施工アドバイザーとして参画し、公共工事の品質や機能の確保等に努めることが検討会の目的です。

対象業務は、農道整備「通作条件 奥行西地区 調査設計1業務」におけるボックスカルバート施工について、根室管内建設業協会から推薦頂いた3名のアドバイザーにご検討いただきました。プレキャスト製品の設置に必要なクレーン組立ヤードの位置や、既設コンクリート水路を取り壊す際の仮設道路の必要性、さらには床掘時に発生する湧水の処理方法などについて、現場経験に基づくたくさんの貴重なアドバイスを頂きました。

また、今回の検討会を若手技術者の育成に寄与する取組にしようと、研修会を兼ねて開催しました。現場や設計業務が繁忙期である11月中旬の開催となりましたが、根室管内建設業協会、釧根測量設計協会のご理解・ご協力もあり、若手を中心に58名もの技術者の方々にも参加していただきました。

地域の守り手としての役割を担う建設業界では、近年、技術者の高齢化・担い手の減少、技術力の継承といった問題や課題があります。

このため、農村振興課では、今回の参加者が互いに連携し、特に将来を担う若手技術者には、発注者・設計者・施工者が持つそれぞれの役割を学ぶなど、横のつながりを持てる場を企画しながら、管内の農業農村整備を盛り上げていきたいと考えています。



第2部_施工箇所での現地検討会

根室振興局農村振興課では、初めての施工アドバイザー検討会開催ということもあり、事前準備や各協会等との連絡・調整など四苦八苦しながら進めて参りました。

ご協力頂いた関係者の皆様のおかげで、無事終了することができました。この場を借りて感謝申し上げます。